

橋梁長寿命化修繕計画

新庄村

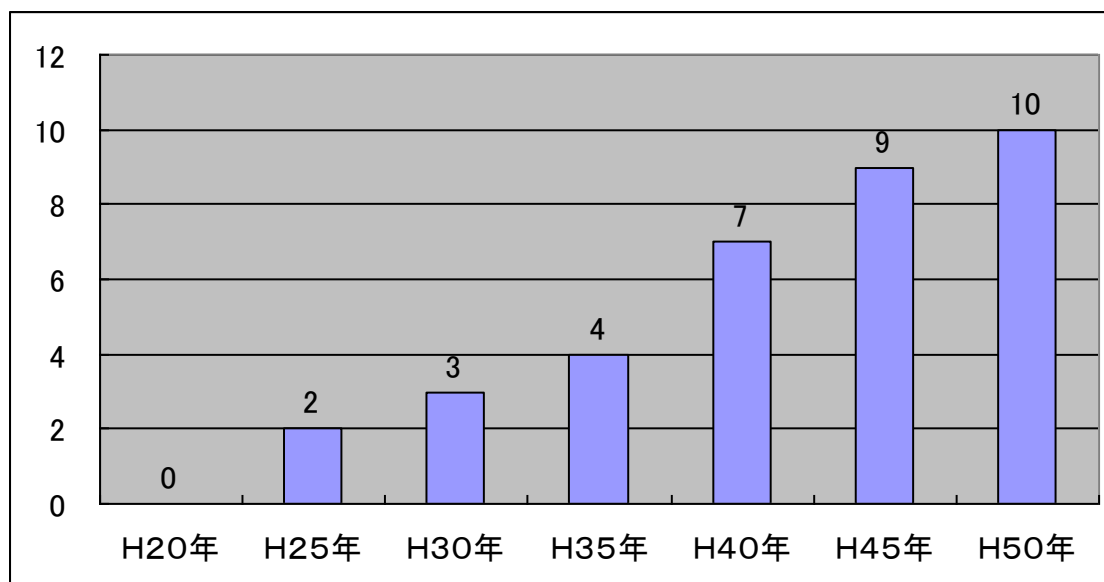
1. 背景

新庄村が管理する道路橋（橋長15m以上）の中で、架設後50年を経過する橋梁は平成20年度末現在ではありませんが、20年後には半数以上が50年を超えることとなり、急速な高齢化が進む見込みです。こうしたことから、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対して可能な限りのコスト縮減への取組が必要となってきます。

2. 村管理の橋梁（橋長15m以上）

現在村が管理している橋長15m以上の橋梁は平成20年度末時点で13橋あります。このうち架設後50年以上経過しているものは、現在ではありませんが、20年後の平成40年には半数以上の7橋が50年経過となります。30年後には大半の橋梁が更新時期を迎えます。

【架設後50年経過橋梁数の推移】（橋長15m以上）



3. 新庄村長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一級村道	二級村道	その他	合計
全管理橋梁数（15m以上）	1	5	7	13
うち計画の対象橋梁数	1	5	7	13
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うちH20年度計画策定橋梁数	1	5	7	13
○長寿命化修繕計画の対象 新庄村が管理する橋長15m以上の全ての橋梁				

4. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに岡山県道路橋梁点検マニュアルに基づいて点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握します。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール等の実施を徹底します。

5. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、予防的な修繕計画の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。